

開会式リハーサル挙行

北のまほろば国体あと2日

関係者800人が参加



八戸市の長根運動公園野球場で行われた「北のまほろば冬季国体」総合リハーサル

第五十五回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「北のまほろば冬季国体」は二十九日、皇太子さまをお迎えして八戸市の長根公園野球場で開会式を行い、五日間の熱戦の幕を切る。二十七日は式典を担当する市内の中高校生、関係者ら約八百人が参加し開会式の総合リハーサルが行われた。

アトラクションの北稜中生によるえんぶりが披露された後、ファンファーレが鳴り響き、光星学院高校の生徒による鼓隊が入場、八戸西高校の生徒が日

の丸、国体旗を掲げて行進。今大会のために作曲された「北のまほろば行進曲」や新八戸市民の歌などに合わせて聖ウルスラ高校生が参加四十七都道府県のプラカードを持ち入場。スピードスケートの成年Bに出場する戸田金作選手が宣誓した。

この日は好天ながら身を切るような寒さだったが、参加者は担当ことにそろえたカラフルなユニホームに身を包み、二日後に控えた本番に備えて約一時間半、真剣な表情で臨んでいた。国体事務局の田口久年式典部長は「細かい部分はまだ直さなければならぬが、まずまずの出来」と話していた。